



今号は、前号に引き続き保育整備計画(素案)市民の意見を聞く会の内容についてお伝えします。計画(素案)についての意見を聞く会としては最終回の第4回目の会を6月1日(木)に、くにたち南市民プラザにて開催しました。いただいたご意見を紹介します。

## 保育整備計画(素案)市民の意見を聞く会<第4回>(6月1日 @南市民プラザ)

6月1日に開催した第4回「保育整備計画(素案)市民の意見を聞く会」には3名の方が参加され、夜の時間帯にもかかわらず、小さなお子様を連れてご参加いただいた方もいらっしゃいました。お忙しい中、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。ご参加が難しかった方も、公立保育園4園には保護者の声意見箱を設置しておりますので、ご意見をぜひお寄せください。

意見を聞く会で出された主なご意見やご質問は以下のとおりです。なお、市民の意見を聞く会の記録については、準備が出来しだい、順次、市ホームページに掲載していきます。

**Q**：計画(素案)において、目安のスケジュールでは、2園目以降の検討が1園目の移管の翌年から始まっていますが、1年間の内容を踏まえて効果検証を行っていくということでしょうか。

**A**：様々意見をうかがう中で、6年1サイクルをやってからという意見もありましたが、人的効果や財的效果の部分で評価は行っていく必要があると考えています。また、三者協議会は継続して行っていくものと考えておりますので、そうした中で振り返りながら進めていきます。

**Q**：矢川保育園は社会福祉法人に移管するということですが、2園目以降の選択として財団法人ということはあるのですか。矢川保育園での懇談会では、財団法人についての質問も多くあったようですが。

**A**：保育審議会の答申を受けて、計画(素案)では、1園目は社会福祉法人へ移管し、2園目以降は、効果検証を行った後、1園目と同じ方法が新たに財団法人などを設立して移管していくのかを選択していくことをお示ししています。よって、現段階ではどちらにということは決まっておりません。

**Q**：説明会・懇談会を開催されてもあまり参加されない状況なのでしょうか。

**A**：計画(素案)の公表後としては、3月26日矢川保育園での懇談会を皮切りに、複数開催してきていますが、参加された昨年度の役員の方からは参加者が少なく寂しいといったことも言われています。

これまで聞き取っているなかでは、8~9割程度の割合で、保育士が変わることへの心配についてご意見をいただいています。合同保育で丁寧に引き継いでいくなしても保育士は変わってしまうことや、保育士と築いてきた信頼関係がなくなるというところで不安を感じているということでした。

保育士が変わらない方法はないのかというご意見の中で、公益財団法人、社会福祉事業団の方法について、詳しく知りたいであるとか、これまでその点での議論がなかったのかなどご意見をいただいています。

そのため、子ども、保護者にとって、どちらの方法がよいのか。また、市の今後の子ども施策を展開していくことを考えたときに、その広がりのためにはどちらの方法がよいのかなどを総合的に判断する必要があると考えています。

**Q**：自分の子どもが通っている保育園は、民営化の対象園ではなかったもので、安心している保護者が多い様子で、昨年度に比べて関心は下がっているように感じています。しかしながら、全体のスケジュールを見ていけば、矢川保育園だけの問題ではなく、公立四園で考えていくべき内容であると思っているので、全体でできるようにして欲しいです。

**A**：市といたしましても、この民営化の取組は矢川保育園の保護者に限ったことではないと思っており、今後の国立市全体の保育を考えていくことが必要であると考えています。  
矢川保育園においても、説明会への出席は難しいであるとか、面と向かっては言いづらい、アンケートでのやりとりの方がよいといったご意見がありますので、色々な選択肢の中で、できる限り多くのご意見をいただける方法を取りながら、一緒になって考えていきたいと思っています。

**Q**：保護者の相談などを保育士は今でも聞いていると思うが、市で考える保育ソーシャルワーカーはどのようなことを担っていこうと考えているのか。今後、深く掘り下げていていただきたい。

**A**：保育ソーシャルワーカーについては、まだ歴史が浅いものです。保育系の大学において保育ソーシャルワークの研修が行われていますが、それだけではなく、実際の保育現場でどのような支援が必要なのかを考える必要があります。例えば、支援が必要とわかっていても必要な機関に行かない方もいますので、保護者に寄り添って支援ができるような体制を作っていきたいと考えています。

#### <その他の意見・感想>

- ◆ 卒園後も保育園に行って相談している保護者もあり、子ども家庭支援センターではなく、身近な保育園に聞いてみるといった保護者も多い。子どもに限らず、保育園は親にとっても馴染みの場所となっていて、何かあれば相談しやすい場所です。そういった場は残して欲しいと思います。
- ◆ 子どもを武蔵村山市の保育園に入れていた経験があり、0歳のときに通っている保育園の民営化がありましたが、今でもその保育園の先生とは付き合いがあります。保育園の先生は子どもも親も親友以上に信頼できて、社会人としての先輩でもあるし、子どもの心が通じ合っている人ということで、とても大事な存在であると思います。ですので、そうした関係性を重視して進めていけば、きっとよい方向に向かっていくと思います。その武蔵村山市の園は落ち着いています。
- ◆ 民営化通信も出していただいている、財団法人の比較の表などわかりやすく作っていただいたと思います。発信も大事であるが、受け手の問題もあると思う。保護者や先生方とも一緒になって話を進めていただければと思いますし、矢川保育園だけの問題ではないと思うので、継続的に意見を聞き取っていただければと思います。

#### 「市民の意見を聞く会」にご参加いただきありがとうございました！

市民の意見を聞く会において皆様からいただいた主なご意見と回答については、保育園民営化通信(第6号～第9号(今号))においてお知らせしてきましたが、このたび、市のホームページにおいて、市民の意見を聞く会の第1回(5/14)及び第2回(5/21)の記録を掲載しました。

民営化通信では掲載し切れなかったご意見についてもご覧いただくことができますので、皆様ぜひご覧ください。(右記QRコードからも該当ページをご覧いただけます。)

第3回、第4回の記録につきましても、準備が出来次第掲載していきます。

